

令和6年3月19日
山形県農業労働力確保対策実施協議会

報道機関各位

「令和5年度山形県農業労働力確保対策実施協議会」の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので取材くださるようお願いいたします。

山形県では、農繁期の労働力確保に向けた各種取組みを、山形県農業労働力確保対策実施協議会及び各ワーキングチームを中心に関係機関・団体等が連携し、オール山形で推進をしているものです。

記

1 日 時 令和6年3月22日（金） 13:00～14:30

2 会 場 山形県職員会館あこや会館 1階ホール
(山形市松波二丁目8番1号 電話：023-642-1358)

※オンラインでの参加も可能としています。

3 内 容

- (1) 令和5年度事業実績及び収支決算案について
- (2) 令和6年度の協議会及びワーキングチーム会議の体制案について
- (3) 令和6年度事業計画及び収支予算案について
- (4) その他

【問い合わせ先】

山形県農業労働力確保対策実施協議会
(事務局 農業経営・所得向上推進課)
課長補佐 後藤 克典
電話 023-630-2286
報道監 農林水産部次長 齋藤 邦仁

1 取組概要

農繁期における労働力不足を解消するため、「やまがた農業ぷちワーク」をはじめ、今年度からスタートした「元気な農業人材確保プロジェクト事業」や、県職員による「やまがたチェリサポ職員制度」などの取組みを実施。

2 実施状況

(1) やまがた農業ぷちワーク

1日農業アルバイトアプリ「daywork」を活用した労働力マッチングの推進

▶ マッチング成立人数 **延べ12,916人** (R5目標: 延べ10,000人)
(2/29時点)



○ マッチングの状況

	4/1~2/29		R4 対比
	R5	R4	
求人数	14,441	7,823	185%
成立数	12,916	6,349	203%
成立率	89%	81%	+8 ポイント

- ・ R5年度は求人数・成立数ともにR4年度を大きく上回り、R4年度対比で求人数・成立数は約2倍
- ・ R5年度の成立率は、R4年度対比で8ポイント増の89%

(2) 元気な農業人材確保プロジェクト事業 (農作業受委託モデル)

県外(首都圏等)からの多様な人材による農作業受委託モデルの実証(県・JA全農山形・JTBによる三者協定プロジェクト)

▶ 農作業受委託の参加人数 **延べ3,015人** (R5目標: 延べ3,000人)
(R5最終実績)

アグリワーケーション 延べ264人

首都圏等の企業の社員による さくらんぼ収穫、ラ・フランス出荷調整等の作業

県外参加企業

JAL、JR東日本、NTTドコモ、
デロイトトーマツコンサルティング など

品目別 参加延べ人数(人)			
水稲	50	枝豆	77
さくらんぼ	735	大豆	109
すいか	240	ラ・フランス	1,176
もも・ぶどう	241	その他	
きゅうり	172	(花き、りんご等)	215

アグリツアー

延べ395人

首都圏等の旅行者によるさくらんぼ・すいか・もも収穫等の作業

アグリキャンプ

延べ22人

部活動・企業のスポーツチームによるきゅうり管理等の作業

▶ 山形大学、秋田県立大学が参加

上記以外の現地募集アルバイト

延べ2,334人



すいか収穫作業の
アグリツアー参加者

(3) やまがたチェリサポ職員制度

県職員の副業によるさくらんぼ収穫・出荷作業等への従事実績 (5/3~7/17)

▶ 作業従事延べ人数: **168人** (R4: 119人)
※ 申請者数: 56人 (R4: 50人)



県職員によるさくらんぼ収穫作業

アンケート調査結果

- ・ 今後も働きたい職員が93%
- ・ 働きたい理由は、「作業にやりがいを感じた」「人手不足解消に役立ちたい」が多い

